

## 診療科紹介

### 整形外科

【整形外科部長 木森 研治】

平素より先生方には数多くの症例を御紹介頂き誠に有難うございます。おかげをもちまして私の赴任以降、過去17年間で9000例を超える手術を施行し微力ながら地域医療に貢献することができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、当科では私を含め4名体制で診療しておりますが、本年4月から8年間勤務した河越宏之医師(脊椎脊髄外科専門医、平成2年卒)に代わって膝関節、足関節外科を専門とする小林孝明医師(平成5年卒)が着任いたしました。この領域では前任地である愛媛県でリーダーとして活躍してきた実績があり、特に膝関節に関しては「いま求められている最高の医療」を提供できると確信しておりますので何卒、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

なお、これまで行ってきた手の外科・肘関節外科を中心とした上肢の外科は今後も全ての疾患で我が国のトップレベルでの診療を継続していく所存です。この方面でもこれまで以上にご支援いただければ幸いです。

これから暑い夏が訪れますが、先生方にはくれぐれもご自愛されますようお祈り申し上げます。

#### 【整形外科スタッフ】

部長 木森 研治 (S56卒)

医長 小林 孝明 (H5年卒)

医長 角西 寛 (H12年卒)

#### 【手の外科・微小外科研究所】

所長 生田 義和 (S39年卒)

### 【整形外科医長 小林 孝明】

本年4月1日をもって整形外科勤務となりました小林です。広島県三原市の出身で、広島大学医学部医学科を卒業後、平成5年に広島大学医学部整形外科に入局しました。

関連病院で研修した後、平成17年に広島大学の大学院に入学。越智光夫教授の下で、臨床では膝関節外科を勉強し、基礎研究では「磁化させた骨髄間葉系幹細胞を利用した関節軟骨修復」の研究を行いました。この治療法は、現在、広島大学病院で人への応用が行われています。大学院での研究を終え、平成21年7月に松山赤十字病院の整形外科副部長として赴任し、平成24年からは整形外科部長として勤務しました。松山では6年間に972例の手術を執刀しており、その中で膝関節外科の手術は920例となっています。手術内容は前十字靭帯再建術 249例、人工膝関節置換術 223例、半月板の手術(縫合術と切除術) 214例、その他の手術 234例です。また愛媛県ではじめて培養軟骨細胞移植術を行っています。この治療法は、外傷後の軟骨欠損症や離断性骨軟骨炎の症例に限られておりますが、患者から軟骨片を採取して、これをジャパン・ティッシュ・エンジニアリング社に搬送し、同社で自家培養軟骨を作製した後、当院に搬送して自家培養軟骨の移植を行うという方法で、患者自身の軟骨細胞を使用した完全オーダーメイドの再生医療です。まだ当院で使用することはできませんが、少しずつ膝の症例を増やして、施設認可を取りたいと思っています。

次に膝関節外科専門外来について紹介します。対象となる疾患は、変形性膝関節症、膝の靭帯損傷、半月板損傷、膝蓋骨脱臼など多くの疾患があります。代表的な疾患について紹介します。



## 1) 変形性膝関節症

年齢を重ねるにつれて徐々に膝関節が変形してきて、膝の痛みを生じる疾患です。代表的な手術は、膝の表面を金属で置き換える人工膝関節置換術です。この手術に関しては、術中の出血を清潔に回収し、再び身体に返す装置(セルセーバー)を使用すること、術前に自己血を貯えておき、これを術中や術後に身体にかえすことにより、ほぼ100%輸血を行わずに手術が行えます。入院期間は1ヶ月としており、退院時にはほとんどの人が杖なしで歩くことができます。



通常の人工膝関節置換術  
(左:手術前, 右:手術後)

変形が強い患者の人工膝関節置換術(左:手術前, 右:手術後)

## 2) 前十字靭帯損傷

スポーツで膝を捻って、歩けなくなったとか膝に血液がたまっていた時は、多くの場合、前十字靭帯が損傷されています。前十字靭帯を損傷すると、手術をせずになおすことはほぼ不可能なので、靭帯再建術という手術を行います。前十字靭帯の再建術は、膝の後側にある半腱様筋腱を使用して低侵襲で行うことができる関節鏡視下手術を行っており、入院期間は2~3週間で、スポーツへの復帰は9ヶ月程度としています。



断裂した前十字靭帯(左:靭帯が細くなって緩んでいる)と再建した前十字靭帯(右)

## 3) 半月板損傷

半月板損傷は10歳代のスポーツ外傷から、50~60代の半月板の変性による断裂まで幅広い年齢層で起きてくる疾患で、主な症状は関節のひっきりにもなう痛みです。半月板の手術は、半月板を温存できる症例には可能な限り縫合術を行っています。半月板の変性が強かったり、治癒能力がない部位での半月板損傷の場合には部分切除術を行っています。入院期間は1~2週間程度となっており、スポーツへの復帰は1~3ヶ月程度としています。

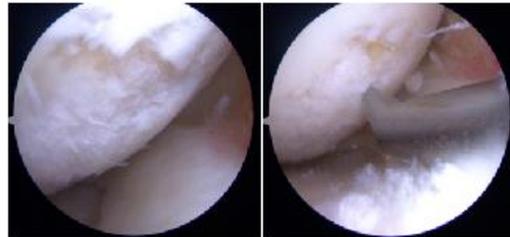


断裂した内側半月板(左)と半月板部分切除を行った後の半月板(右)

## 4) 軟骨損傷

軟骨損傷は事故や靭帯損傷による比較的年齢の若い人に発生するものと、加齢性変化により軟骨が変性してきたために発生するものがあります。軟骨損傷に関してはドリリング、マイクロフラクチャー法や骨軟骨柱移植術などのいろいろな手術手技を駆使して治療を行います。

代表的な疾患について説明しましたが、まだまだいろいろな疾患があります。膝の痛みや不安定感でお困りの症例があれば、お気軽にご相談ください。外来診療は月・木・金曜日の午前中に行っています。



マイクロフラクチャー法(術前の軟骨がはがれて骨が露出している状態(左)と損傷部位に鋭いオウルで穴を明け(右)、出血おこさせることで軟骨の修復をうながしている)

《外来担当表》

	月	火	水	木	金
午前	小林	生田	生田	小林	角西
		木森(紹介のみ)	木森(紹介のみ)		小林
		角西	角西		





# 血液内科

【血液内科医長 美山 貴彦】



血液疾患には白血病、悪性リンパ腫、骨髄増殖性疾患(真性多血症、本体血小板症、骨髄繊維症など)、骨髄異形成症候群などの造血器腫瘍、免疫異常や感染症、薬剤副作用などによる白血球数・赤血球数・血小板数の減少、そして先天性あるいは後天性の血液凝固異常による血栓・出血性疾患などがあります。これら血液疾患は白血球、赤血球、血小板の数的、質的異常による貧血、易感染性、出血傾向、リンパ節腫脹などといったさまざまな症状としてあらわれることがあり、また自覚する症状は乏しいものの健診などで偶然発見されることもあります。従来、がん領域では強力な抗がん剤治療による副作用や体力低下などが問題となっていました。血液疾患領域においては近年、新規薬剤の開発がめまぐるしく、一部の造血器腫瘍においては内服薬のみでの治療も可能となっています。当診療科では、血液疾患全般を対象として広島県内の他の高度専門医療機関とも連携をとりながら血液疾患の診断および治療を行っています。また、造血不全症による慢性貧血患者様に対しては外来での輸血療法なども行っております。患者様のQOL(Quality of Life: 生活の質)を常に念頭に置き、適切な医療を行えるような診療を心がけております。

	月	火	水	木	金
午後				○	



## HMネット:診療情報開示カード拡大キャンペーン実施しました

HMネットに参加されている病医院にかかられている患者さまに、診療情報開示カードの発行を促進するため、医師会の職員が来院されました。

患者さまにとっては、以下のようなメリットがたくさんありますので、ぜひカードを発行され、ご利用いただくことをお勧めします。



### HMネットについて

HMネットとは、広島県と広島県医師会が構築し運営するひろしま医療情報ネットワーク(Hiroshima Medical Network)の愛称です。

HMネットに参加した病医院や薬局ではあなたの診療情報を共有することで肉体的、経済的、精神的な負担を軽減し、安心、安全、均質な医療を提供します。



「HMカード」と「情報開示カード」2種類のカードは、医療と福祉の新しい時代を築きます。

HMネットでは「HMカード」と「情報開示カード」の2種類のカードを使用し、厳密なプライバシー保護の下にあなたの診療情報の連結と共有を実現します。

### 情報開示カードを利用するメリット

- (1) 検査や投薬の重複を防ぐことができるため、肉体的、経済的な負担が軽減します。
- (2) 薬剤禁忌やアレルギー情報などが共有されるため、医療の安全性が向上します。
- (3) フィルムや資料を持ち運ぶ手間が省けます。
- (4) 複数医療機関の治療方針や説明が一致するため、安心して診療を受けることができます。



HMネットに関する問い合わせは

## ひろしま医療情報ネットワーク

一般社団法人 広島県医師会 TEL:(082)296-3022

# 各教室のご案内

場所: 8階会議室 参加費: 無料 \* 当日参加可能です

《疾患を持つ方とそのご家族、又は興味のある方ならどなたでも参加できます》

教室名/時間	月日		内容	担当	お問い合わせ
慢性腎臓病の食事教室 14:30~15:30	8月5日	水	「たんぱく」の摂り方	医師/管理栄養士/看護師	3階南病棟 看護師長
	9月2日		「献立」の立て方		
慢性腎臓病(CKD)教室 10:30~11:30	7月21日	火	血圧と慢性腎臓病(CKD)	医師/薬剤師/看護師	
	8月18日		透析と慢性腎臓病(CKD)		
	9月15日		糖尿病と慢性腎臓病(CKD)	医師/薬剤師/管理栄養士	
心臓病教室 14:30~15:30	8月3日	月	運動が心臓に良いつて本当!?	理学療法士	
	9月7日		いざというときの心肺蘇生	看護師	
糖尿病教室 14:00~15:00	7月24日	金	糖尿病の治療	医師	お薬窓口
	8月21日		糖尿病と認知症	医師	
	9月11日		外食してはいけないの? ~糖尿病食の基本と外食について~	管理栄養士	
	9月25日		生活習慣病と動脈硬化	医師	
肝臓病教室 14:30~15:30	7月27日	月	「肝臓病の栄養」/未定	管理栄養士/医師	北外来
	8月24日		「肝臓病の運動療法」	理学療法士	
	9月28日		「肝臓病の薬」/未定	薬剤師/医師	

土谷総合病院

〒730-8655 広島市中区中島町3-30

TEL:082-243-9191〔代表〕 FAX:082-241-1865(代表)

\* 地域連携室(紹介予約専用直通)\*

TEL:082-243-9222〔予約直通〕 FAX:082-243-9223(予約直通)



## 《スタッフ紹介》

室長 荒滝 桂子(医師 消化器内科部長) 塩出 宣雄(医師 循環器内科部長)

転院相談 (看護師) 師長伊美 礼子 主任楠本 万理

紹介予約 (事務) 遠山 亜紀 高橋 正江

医療相談 (MSW) 印藤 由紀 林 愛子 清水 香保里

入退院センター (看護師) 主任内部 麻紀 亀井 久美子 村尾 麻衣 (事務) 佐藤 美穂